【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2011-126526(P2011-126526A)
【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2010-283413(P2010-283413)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｄ　25/12　(2006.01)
Ｂ６０Ｊ　7/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｄ　25/12　Ｄ
Ｂ６０Ｊ　7/12　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月20日(2013.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両、特に自動車のカバー（２）のための操作機構及びロック機構であって、
－カバー（２）は連結ロッド（１５）を介して開放位置及び閉鎖位置間を運動可能であり、
－連結ロッド（１５）はホルダ（１０）を介してカバー（２）の下側部分に旋回可能に取り付けられており、連結ロッド（１５）の他の端部がリンク機構（１６）に旋回可能に固定されており、
－リンク機構（１６）は少なくとも２つのリンク（２０，２１，２２）から成っており、
－該少なくとも２つのリンク（２０，２１，２２）は、カバー（２）の閉鎖時に死点ロックの位置を互いに占め、
－１つのリンク（２０，２１，２２）が液圧的なシリンダ（１３）によって駆動される、
車両、特に自動車のカバーのための操作機構及びロック機構において、
－リンク機構（１６）の１つのリンク（２０，２１，２２）はトグルレバー（２２）として構成されており、介在リンク（２１）は一方の端部によってトグルレバー（２２）の屈曲領域において旋回可能に固定されており、かつ、介在リンク（２１）は他方の端部によって、主支承部（３）に支承されているリンク（２０）に旋回可能に結合されていることを特徴とする、車両、特に自動車のカバーのための操作機構及びロック機構。
【請求項２】
トグルレバー（２２）はほぼ９０°の角度を有していることを特徴とする、請求項１記載のカバーのための操作機構及びロック機構。
【請求項３】
支承部（２６，２７，２８，３０）が四節リンク機構を形成することを特徴とする、請求項１記載のカバーのための操作機構及びロック機構。
【請求項４】
カバー（２）の閉鎖位置において、リンク（２０）及び介在リンク（２１）は液圧式の

シリンダ（１３）の方向にＶ字形に互いに屈曲している位置を占め、リンク（２０，２１）の前記位置は死点ロック位置であることを特徴とする、請求項１から３までのいずれか一項記載のカバーのための操作機構及びロック機構。

【請求項５】

カバー（２）の閉鎖位置において、トグルレバー（２２）の脚部（２３）が走行方向（１）に対してほぼ鉛直方向に配向されていることを特徴とする、請求項１から３までのいずれか一項記載のカバーのための操作機構及びロック機構。

【請求項６】

カバー（２）の閉鎖位置において、リンク（２０）とＵ字形ヘッド（１７）との間の支承部（３１）は、支承部（２６，３０）間の結合線（ＶＢＬ）上に位置することを特徴とする、請求項３記載のカバーのための操作機構及びロック機構。

【請求項７】

支承部（３０，３１）と支承部（２６，２８）とのてこ比がほぼ同じであることを特徴とする、請求項１から６までのいずれか一項記載のカバーのための操作機構及びロック機構。

【請求項８】

カバー（２）の閉鎖位置において、支承部（２６，３０）の結合線（ＶＢＬ）は連結ロッド（１５）に対してほぼ直交する方向に配向されていることを特徴とする、請求項１から７までのいずれか一項記載のカバーのための操作機構及びロック機構。

【請求項９】

カバー（２）の閉鎖位置において、支承部（２５）は支承部（２６）を通る鉛直な線と、支承部（３１）を通る水平な線とのほぼ交点に位置することを特徴とする、請求項１から８までのいずれか一項記載のカバーのための操作機構及びロック機構。